



誠実に・着実に・皆様とともに

# 西山かずみ

## 市議会活動報告

会報：第23号

市民生活常任委員会 委員  
災害等対策推進特別委員会 委員  
意見書案検討会 委員  
志帥会 政務調査会 会長



ごあいさつ

新年度を迎え、何かと気忙しい日々が続きます。新型コロナウイルスの感染については今のところ落ち着いて推移しているようですが、引き続き、感染防止の対策を続けていただきながら、お過ごしいただければと思います。

私は、令和5年2月定例会で一般質問をさせていただきましたので、ご報告いたします。また、質問の挨拶部分を抜粋して掲載しますのでご覧ください。

「先日、学生時代の部活仲間と会う機会があり、顧問の先生から、教わった話になりました。自分の目標や課題をしっかりと言葉にして、それに向かって行動することで自身のモチベーションを保つだけでなく、その言動を見ているチームメイトにも波及していくことやチームの信頼を得るためには、自己中心的な言葉より、目

見せるプレイ、行動が一番大事であることなどなど、当時、多くの事を教えていただいたと話しました。コロナ禍の影響で行動が制限されてきた中、きつい言葉のやり取りだけが行きかう場面を多く見かけます。

とんち話で有名な一休は、「今日ほめて 明日悪く言う 人の口 泣くも笑うも 嘘の世の中」と詠んでいます。

まもなくウイズコロナに代わるこの時期に、「言行不一致」の状況から、一日も早く「言行一致」の日常に戻るようにならなければと思います。「まずは隗(かい)より」と思ったところです。」

引き続き、誠実に議員活動を進め、責任を果たしていく所存ですので変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

## 令和5年2月定例会

### 福島国際研究教育機構 (F-REI) とのさらなる連携への取組みは

本市は、「産業界との連携」、「高等教育機関との連携」、「国際のおもてなし」の3本柱を軸に、いわき版「骨太の方針」にも掲げたとおりF-REIとの連携を図っているが、それぞれに対して今後、どのように動いていくのか伺う。

質問 産業界との連携に向けた今後の取組みはどのようなものか。

答弁 **総合政策部長** F-REIと産業界との連携により、研究開発を通じたイノベーションを加速し、新たな産業基盤の創造や、既存産業の発展を成し遂げることが重要。F-REIでの研究成果の産業化・実用化の拠点形成を目指す。具体的には、F-REIの研究を社会実装につなげる環境整備を進め、スタートアップや事業再構築など、挑戦を促す環境整備にも取り組む。これらにより、雇用創出や若者還流を実現する。

質問 高等教育機関等との連携に向けた今後の取組みは。

答弁 **総合政策部長** F-REIと高等教育機関等との連携により、地域の未来を担う人材、研究・産業を担う人材の育成を目指す。このため、福島高専における専攻科の充実等に向けた取組みを進める。また、市内大学等における教育プログラムの構築や、地元企業等との連携による人材育成の促進などに取り組んでいく。

質問 国際的なおもてなしに係る今後の取組みはどのようなものか。

答弁 **総合政策部長** 本市は、学術発表の場となる国際会議やレセプションの円滑な受入れなどに関する経験、ノウハウ、施設等を有している。また、外国人の方が快適に暮らせるよう商業施設や医療施設、さらには教育施設など生活を支える環境も充実。加えて、いわきFCなどのスポーツ観戦、いわきアリオスでの催しなど、エンターテインメントを楽しむ環境も充実している。これらにより、国際的なおもてなしを十分に提供することができると捉えており、今後、F-REIの国際的な研究教育活動に関する展開等を踏まえ、適時適切に対応していきたい。

質問 国の動向を踏まえた連携強化に向けた今後の本市の方向性は。



答弁 **市長** F-REIは、最先端の産業創出と集積をもたらし、生活基盤の再生も含め、浜通り全体の力強い復興、創生の原動力となる。加えて、既存産業の底上げ、若者や女性の雇用、研究教育の場として、人口減少など地域の共通課題への解決の糸口になってくる。F-REIは、今後、中期計画等に基づき研究開発等が拡大し、これに伴い、多くの企業や大学等も関与していくこととなり、本市を含めた浜通り地域に大きな影響をもたらすことが想定されている。このようなことを踏まえ、私は、浜通り地域の中核的都市としてのいわき市の役割に鑑み、F-REIとも充分連携を深めながら、浜通り地域のさらなる発展のために尽力して行きたいと考えている。


F-REIの設置により、本市は、若者の雇用やUIJ人材の増加、浜通り地域企業への雇用促進などをはじめとした、多方面での好循環が期待できる。成長産業を創るべき人材の育成や、市内の高校生や大学生など、若者の地元での雇用体制をどのようにして前に進めていくのかは、大変重要な課題だと捉えられる。


将来、しっかりといわき市を多方面から支えてくれる人材の醸成へのさらなる支援もお願いし、機構との連携に向けた本市の方向性に沿って、新たに配置される二人のF-REI連携企画官を軸に、様々な政策プランが、関係団体や教育機関の協力のもとで、着実に前へと歩を進めていくよう要望する。




## ヤングケアラーの負担軽減に向けた今後の取り組みは

ヤングケアラーの存在に気付くためには、子ども達、またはケアの対象となる家族に関係する様々な人が、ヤングケアラーがいるかもしれないという意識を常に持つことも重要だと言われており、多くの方が関わっていくことで早期の発見につながっていくものと思うが、


**質問**  **新たなヤングケアラー発見後、具体的な支援をどのように行っていくのか。**


**答弁**  **子どもみらい部長** 発見後は、ヤングケアラー本人や家族等の状況について調査を行った上で、地区保健福祉センター及び子ども家庭課の職員、また、必要に応じて関係機関を招集してケース会議を開催し、把握した情報を基に、支援の必要性について協議する。協議の結果、支援を要すると判断されれば、ケースに応じた支援方針を決定し、関係機関ごとの役割を明確化した上で、連携した支援を実施する。

ケース検討会議での具体的な内容とはどのようなものになるのか。

**答弁**  **子どもみらい部長** 現在把握しているケースについては、全件、ケース検討会議を実施しているが、ケースごとに世帯状況や抱えている課題に違いがあり、支援内容も異なる。実際に支援している一例は、世帯状況として、ひとり親家庭で就労している保護者に代わり、障がい有する妹の身の回りの世話をを行うヤングケアラーへの支援を検討した。本人への支援策としては、負担軽減策として妹への障害福祉サービスの活用を、過度な介護負担による学力低下への支援策として市が行う学習支援事業の活用などを検討し、複合的な課題解決に向け、関係機関が連携して支援を開始した。

ケアすべき家庭の丁寧な実態の調査とケース検討会議での決定方針に基づく速やかな支援の実施をお願いします。

**質問**  **令和5年度の取り組みについてはどのように進めていくのか。**

**答弁**  **市長** 私は、ヤングケアラーへの対応は、市政運営の根幹に捉えている「人づくり」に関わると捉えている。令和5年度は、児童生徒や関係機関に向けたリーフレットの配布や市役所出前講座へのメニュー開設などにより、社会的認知度の向上をまずは図っていく。また、教職員や福祉関係者を対象とした研修会を開催するほか、こども家庭課内にヤングケアラーコーディネーターを配置し、関係機関との連携調整や支援のアドバイスをを行い、支援力の強化に努め、さらに、本人の負担軽減のために、対象となる世帯に訪問支援員を派遣して、ヤングケアラーが担う家事や育児を支援する訪問支援事業を実施する。

関係機関が、それぞれの立場からサポートするとともに、それを統括して最善の方向に導く司令塔の役割をする人材が必要で、それを踏まえたヤングケアラーコーディネーターの配置は、情報の共有や指揮系統の一本化など、その効果は大きいと思う。また、ヘルパー派遣による訪問家事・育児支援は、しっかりと機能すれば、家事を担っている子どもの負担軽減に即効果が見込めることから、今後、大きな支えになっていくものとして期待したい。さらに、様々な支援によって負担が軽減した後も、当たり前前に学校生活や就職が続けられるような長期的なフォロー体制の早期確立を、強く要望する。

**ヤングケアラーとは？** 法令上の定義はありませんが、一般に、本来、大人が担うとされている家事や家族の世話を日常的に行っていることで、負担を抱える、もしくは、子どもの権利が侵害されている可能性がある18歳未満の子どもとされています。

**相談窓口** 「ヤングケアラー」と思われる子どもを発見した、または、自分は「ヤングケアラー」なのかもしれないと思ったら、まずは身近な相談窓口にご相談してみてください。

相談窓口	電話番号
こどもの権利相談室（こども家庭課）	0246-27-8563

※他、市内7地区保健福祉センターへご相談ください。

※その他の質問：本市の特定家畜伝染病への対応について

## 要望活動の実現に向けて。

神谷第一地区  
ほ場整備関係  
令和4年11月着工



※活動実績の一部を抜粋しております。

## 地域の高齢者や子供達が安全・安心に生活が出来るように活動しています。



平上高久地区  
滑津川側道舗装工事



平幕ノ内地区  
用水樹修繕工事  
欄干カバー工事



西山かずみプロフィール 昭和34年9月13日（いわき市平生まれ）

- 公益財団法人ときわ会 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 参与
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

### 経歴

国立福島高専機械工学科卒  
アルプス電気(株)東京本社入社  
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社  
ときわ会グループ(株)シグマ入社  
総合広告代理店を起業



<https://www.facebook.com/kaz2419>



[nishiyamakazumi.hatenablog.com/](https://nishiyamakazumi.hatenablog.com/)

